



いわきFC・新スタジアムに係る今後の進め方について

令和 7 年 5 月 21 日

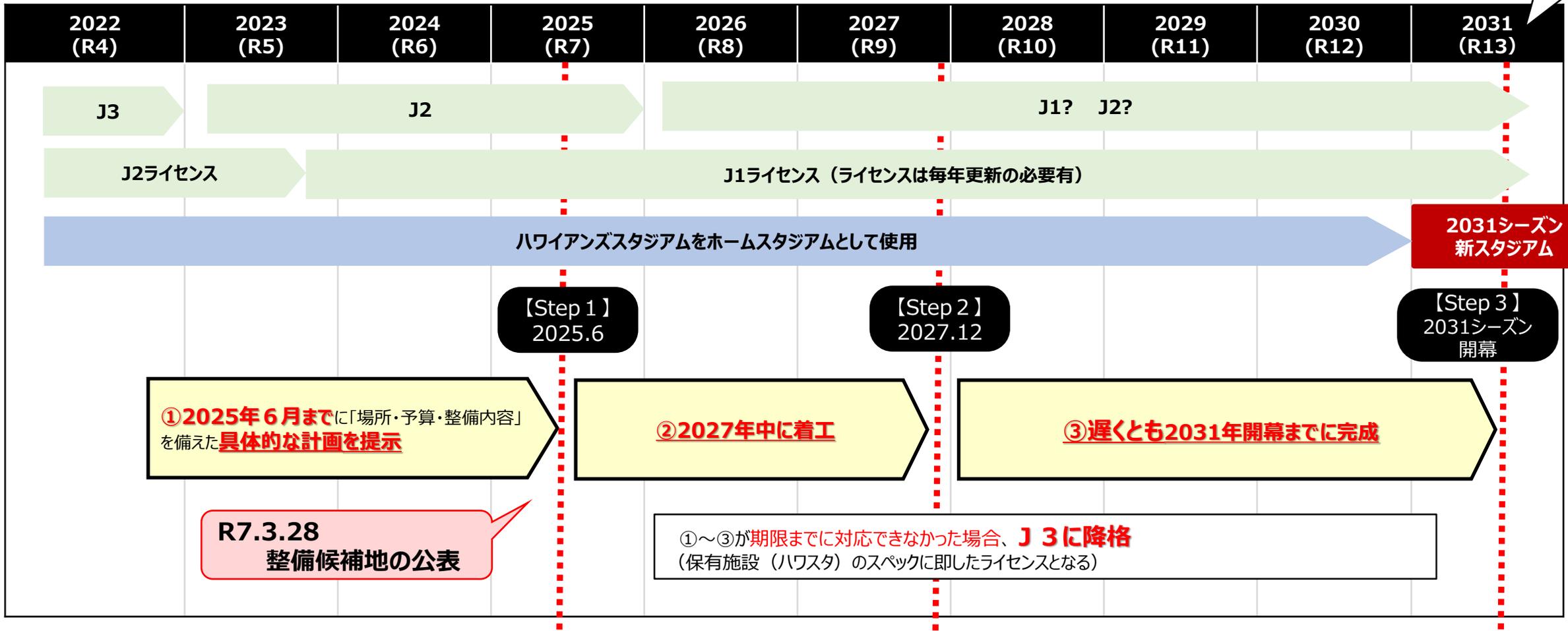


1 いわきFC・新スタジアム整備スケジュール

現在の状況

- ・ 現行のハワイアンズスタジアムは、J 3 基準
- ・ Jリーグの「例外規定」を適用し、J 2リーグに参戦中
- ・ Jリーグが定める基準を満たすべく計画策定中

震災から20年の節目の年





2 整備候補地公表以降の動き



月日	主な対応者	項目	内容
3.28(金)	いわきスポーツクラブ	いわきFC・新スタジアム整備候補地に関する記者会見	・整備候補地を「 小名浜港の区域 」とする。
4.30(水)	経済4団体 ・いわき商工会議所 ・いわき地区商工会連絡協議会 ・いわき経済同友会 ・福島県中小企業家同友会いわき支部	いわきFC・新スタジアム整備に関する要望書提出	<u>【いわきFC新スタジアム整備に関するいわき市の支援について】</u> ・夢と希望を与える「地域の象徴的空間」 ・ 「民間主導・行政支援」 ➡行政による一定の財政支援も必要
5.9(金)	スポーツによる人・まちづくり推進協議会	スポーツによる人・まちづくり推進協議会総会	<u>【いわきFC新スタジアム構想に関する総会決議】</u> ・いわき市の未来を切り拓く象徴的プロジェクトとして 官民が一体となって強く推進 する。



3 市が関わる意義



○人口減少社会への対応

- 世代を超えた多くの地域住民が価値観や感動を共有できる新たな交流空間の創出
- 若者の流出抑制、UIターン促進、関係人口、交流人口の拡大
- スポーツを核に周辺産業への波及効果による地域経済の活性化

○喫緊の課題（医療、子育て、公共交通、教育等）への対応

- スタジアムづくりのプロセスにおいて、顕在化する地域課題の解決策を議論
- 外部からの民間投資を呼び込むため、多様な主体を巻き込んだ、新たな官民連携手法を検討



4 具体的な市の関わり

○小名浜港周辺エリアの価値向上に向けた可能性調査の実施

スタジアムの整備等を契機とした周辺エリアの観光交流やインバウンドの充実、防災・交通機能の向上などについて調査・検討を行う。

◆ 防災・交通対策 ◆ 都市基盤の検討 ◆ 公民の役割検討 など

※ 具体的な検討内容のイメージ

防災機能（避難体制・津波対策）、駐車場、交通アクセス利便性（自動運転等の新たな交通手段の可能性）、子育て機能や医療機能等の導入可能性、観光交流・インバウンドの推進施策 など

○企業版ふるさと納税等の活用

募集開始：令和7年7月～

市外に「本社」のある企業からの寄附を募り、新スタジアム整備等へ活用する。

※ふるさと納税（個人版）の活用についても検討

○庁内のプロジェクト推進体制の構築

令和7年度においては、防災・交通対策や都市基盤整備など組織横断的な検討を行うため、検討チームを設置。